

鳥越敦司 atushi torigoe

占星術師のアドモアゼル愛に合っただけで定してもらったのは今から二十九年前位前の事だ。

当時、私は熊本にいて福岡に行った時にある占い師を見て、その人を通して福岡市の天神コアビルで占い師のチャリティに行ってみた。

Tenjin

その時に東京から来ていたのが、アドモアゼル愛と紅有里だった。

もう一人は福岡市の占い師だったと思う。

アドモアゼル愛と紅有里にみてもらった。

紅有里は今はずっとこの世にいない。Beni

紅有里が言った事は、もう忘れてしまった。

さて、アドモアゼル愛。

その頃、炎愛という名前でごどこかに書いていたのを見たことがあった。

実際に見ると今の顔とは少し違って、もち

ろん若いし、髪の毛もまだ普通にあった。

チャリティ箱に五百円入れて、占いの始まり。 ¥ 500

アドモアゼル愛は、

「あなたは普通の職業ではだめですね。」

とかいう事を言った。

「今は何をされていますか。」

「陸上自衛隊です。」

「うん、それも普通じゃないな・・・。」 usually'm

「前は壁紙の会社で働いていたんですけど。」

「それは、だめです。」

アドモアゼル愛は言うと首を横に振った

「何か金管楽器なんかやるといいですよ。」

とアドバイスしてくれた。

「とにかく職業はふつうではだめです。」

とか何とかも。それから私は普通のサラリーマンをやった事がない。

朝、通勤電車に乗って会社に行ったのも合計で半年にも満たないだろう。

そういう意味ではマドモアゼル君の占いは当たった。

もしかして、そのアドバイスを実行したのかも、とも思えるが、やはり自衛隊をやめても普通といえる職業にはつかなかったのだから占星術は当たるのだ。

まあ、楽器は何もしませんでした。だからアドバイスは実行していないわけだが。

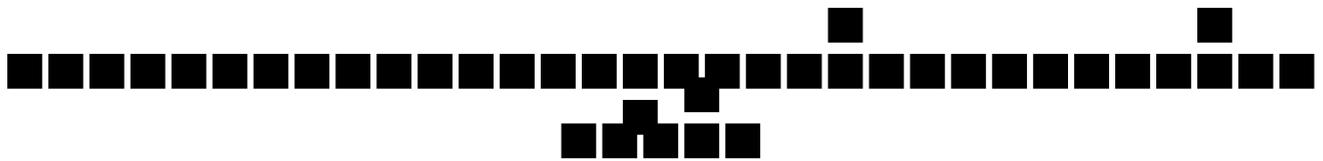
それから十二年くらいたって、あるところにあったマドモアゼル君の通信鑑定に

申し込んでみた。郵便で鑑定は送られてきたが、その中に mail

「あなたには億万長者の星があります。」

と書いてあった。その時も、現在も億万長者という状態には程遠いのだが、私も少しは占星術はわかるので、その占断はわかります。

Uranaidan が 時期は特定してなかったし、私もいつかはわか



<http://p.booklog.jp/book/106811>

著者：鳥越敦司 atushi torigoe

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/dontanine/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/106811>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/106811>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ